

---

# 鬼の涙

松本 和

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

鬼の涙

### 【NZコード】

N4973B

### 【作者名】

松本 和

### 【あらすじ】

昔むかし、ある村のはずれの山には、心ある鬼がいた。その鬼は少し変わった鬼だった。

昔むかし…ある村のはずれの山に、心ある鬼がいた。

その鬼は別の鬼に「こう尋ねたことがある。

「どうして鬼は泣かないの？」

別の鬼は答えた。

「もともと泣かないようになつているからさ。」

その鬼にはどうしたことなのかよくわからなかつた。

その鬼は少し変わつた鬼だつた。

それから2年たつた日のことだつた。その鬼は獲物を探して山を歩いていた。

するとその鬼は人間の娘を見つけた。今日は大物だ。鬼は喜んで娘に飛び付こうとした。

その時、鬼は娘が泣いていることに気付いたのだ。以前から“泣く”ということに興味があつた鬼は娘にもまた興味を示した。

鬼は姿を隠しながら娘に話し掛けた。

「君はどうして泣いているの？」

娘はただただ泣いているだけで答えてはくれなかつた。しかし、泣きながら

「お母さん、お母さん。」

と呟いているのが聞こえた。

それでも鬼には娘が何故泣いているのかわからなかつた。

しばらくして娘は泣くのをやめて立ち上がつた。鬼はびっくりして声をあげそくなつた。ぐつと堪えた。

娘はそのまま歩きだした。立ち止まる気配も見せなかつた。

やがて娘は駆け出した。鬼は訳もわからずについていった。

そして娘の前に人影が現れた。娘は一目散にそこへ駆けていった。

鬼は危ないっ！と思つた。なぜなら、鬼はそれが娘の母だとは知らなかつたからだ。

鬼は娘が怪しい人に駆け寄つていくように見えたのだ。

鬼は娘と母の間に入り込んだ。いけないことだとはわかつていた。人間は鬼にたいして好いイメージを一つも持つていなかつた。

しかし、鬼は娘を助けたかつた。助けて『お友達』になりたかつた。

娘は目の前にいきなり現れた鬼を見て、甲高い悲鳴をあげた。鬼はそれを聞いて胸の真ん中あたりがズキンッとしたのがわかつた。

娘の目の前にいきなり現れた鬼を見て、母はとつさに近くに落ちていた石を拾い、鬼の頭に向かつて思いつきり投げた。

鬼には母であるその人が娘にたいして投げているものだと思つた。

：鬼は娘を守ろうとした。両腕で娘を抱き締めた。

鬼はそのまま、母のもとを離れた。

母は追い掛けたが、見えなくなるまで必死に逃げた。

最初、抵抗していた娘だが鬼が逃げおわった頃には抵抗をやめいた。…というよりも、鬼の腕の中でぐつたりとしていた。

鬼は不思議に思つて、腕を広げて娘を見てみた。よく見ると娘の腕や足はありえない方向に曲がっていた。

鬼は娘が息をしていないのに気付いた。鬼である彼の力は普通にしていたつもりでも娘を握り殺してしまうほど、強かつたのだ。

鬼は何故だかわからなかつた。ただ、何かに裏切られた気がしていだ。友達にもなれなかつた娘は今、鬼の腕の中で涙を流したまま死んでいるのだから。

鬼はとても悲しく思つた。生まれて初めての感情ではじめは戸惑つてしまつた。  
しかし、鬼は泣くことはなかつた。悲しいと思つても涙は出なかつた。

鬼は娘を抱き上げようとしたが、その度に娘の体が形を変えてしまうのが恐くて結局、置いていくことにした。

埋めはしなかつた。鬼にそんな知識はなかつた。

昔むかし、ある村のはずれの山に、心ある鬼がいたが、その鬼でさえ涙を流すことはなかつた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4973b/>

---

鬼の涙

2010年11月21日02時43分発行